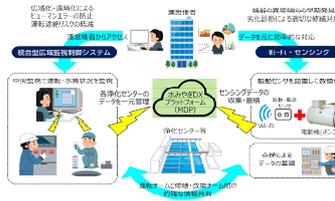
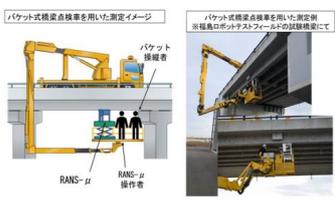
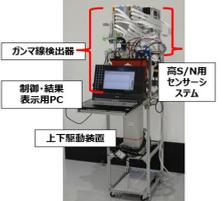


国土交通大臣賞

応募部門	ア メンテナンス実施現場における工夫部門	 <p>水みやぎDXプラットフォーム(MDP)概要</p>
案件名	宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)の導入	
代表団体名	宮城県 企業局 水道経営課	
(概要)	宮城県が保有する水道用水供給事業、工業用水道事業及び流域下水道事業の水道3事業における浄水場、浄化センター等の施設運営をコンセッション方式活用により、一体的に民間に委ね、民間の創意工夫を最大限活用し、20年間で337億円のコスト削減を実現し、水インフラの安定性、技術革新及び持続性の確保に道筋をつけた。事業主体(運営権者等)となったみずむすび2社は本事業の規模・期間・範囲のスケールメリットを活かし、水インフラを一体的に運営する管理体制を構築、デジタル技術等の導入で新たな官民連携モデルを作り上げた。	

応募部門	イ メンテナンスを支える活動部門	 <p>除雪隊出陣式での園児からの応援</p>  <p>動画投稿サイトでの除雪作業紹介</p>
案件名	豪雪空港から発信する空港除雪広報活動	
代表団体名	青森県 青森空港管理事務所	
(概要)	空港除雪は積雪空港における安全確保で最も重要な維持管理業務であるが、除雪作業により航空機の離着陸に遅延が生じることで、マイナスイメージとなることも多い状況であった。決められた時間内で確実に除雪を終わらせる青森空港除雪隊の技術力・チームワークをSNS等で発信することにより、冬期空港及び除雪に関するイメージが向上することを目的としている。	

応募部門	ウ. 技術開発部門	 <p>測定イメージ</p>  <p>装置の概要</p>
案件名	中性子によるコンクリート塩分濃度非破壊検査の技術開発	
代表団体名	理化学研究所	
(概要)	近年、国内外の道路橋では塩害による落橋(死亡事故発生)や重篤な損傷による架替が発生し、維持管理費にも膨大な予算を費やしている。既存の塩害対策は、コンクリート表面に変状(ひび割れ、さび汁等)が現れてから対策を行う「事後保全対策」が一般的で、今後、維持管理費の抑制に向けた「予防保全対策」への転換が求められることから、中性子技術を活用したコンクリート構造物の塩分濃度を非破壊で、現場にて塩分濃度を確認できるポータブルな検査装置開発を行った。	